

- (1) ねらい 美濃加茂市を旅行する外国人観光客に道案内をする活動を通して、相手が行きたい場所や目的に応じて、情報を整理しながら道案内の仕方を考え、その場で質問したり、質問に答えたりしながら伝え合うことができる。
- (2) 評価規準 外国人観光客が旅行を楽しめるような道案内をするために、相手に配慮した道案内の仕方を考え、その場で質問したり、質問に答えたりしながら伝え合っている。(思考・判断・表現)
- (3) 学習展開 (6/8)

過程	学習活動	教師の指導・援助（留意点）						
導入	1 Greeting Time - Small Talk① ・ 様々なテーマについて、既習言語材料を使い2分間ペアで話す。	【ICT 活用の工夫】 ・ デジタルコンテンツを活用して、歌を聴いたり歌ったりする。音声や動画を活用することで、本単元で扱う言語材料を効果的に習得・活用できるようにしていく。						
	2 Song Time ・ 歌を聴いたり歌ったりして、本単元で扱う言語材料等を確認する。							
展開	3 Small Talk②・ Today's Goal ・ 担任とALTのやり取りを聞いて、本時の課題を捉える。 【課題】外国人観光客が旅行を楽しめるような道案内をしよう。	・ 前半の活動においては、やり取りを通して、道案内の仕方を確認できるようにする。 【ICT 活用の工夫】 ・ 文書作成ソフトで作成したマップを用いる。知り得た情報を児童同士が共有することでオリジナルマップを完成させる。マップは、ICT端末上でイラストを適切な位置に移動させることで完成する。						
	4 Activity Time (Activity I)							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A (観光客)</th> <th>B(道案内)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Excuse me? Where is the sushi restaurant?</td> <td>Yes? Sushi restaurant? O.K. Go straight for two blocks. Turn right.</td> </tr> <tr> <td>O.K. I see. Left. Thank you.</td> <td>You can see it on your left. You're welcome.</td> </tr> </tbody> </table>		A (観光客)	B(道案内)	Excuse me? Where is the sushi restaurant?	Yes? Sushi restaurant? O.K. Go straight for two blocks. Turn right.	O.K. I see. Left. Thank you.	You can see it on your left. You're welcome.
	A (観光客)		B(道案内)					
Excuse me? Where is the sushi restaurant?	Yes? Sushi restaurant? O.K. Go straight for two blocks. Turn right.							
O.K. I see. Left. Thank you.	You can see it on your left. You're welcome.							
5 Welcome Time (中間指導)								
終末	<p><深めの働きかけ> “どうしたら、外国人観光客が旅行をより楽しめるような道案内ができるのだろうか。” →相手意識をもちながら道案内することについて考えるように促す。 表現方法：ゆっくり、はっきり、繰り返す、ジェスチャー、指し示す 表現内容：What do you want to eat? I want to eat～. You can eat～. What～do you like? I like～. Do you like～? My favorite is～. ～is popular. ～is famous.</p>	・ 中間指導において、前半の活動を振り返り、よかった姿、困ったこと等を全体で共有する。その上で、「相手意識」に着目させ、表現方法や表現内容の改善について問いかけることで、本時のねらいに迫れるようにする。 ・ 後半の活動では、改善点を意識することで、より相手意識をもち、さらに旅行を楽しむためのやり取りができたという実感をもつことができるようにする。						
	6 Activity Time (Activity II)							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>A (観光客)</th> <th>B(道案内)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Excuse me? Where is the sushi restaurant?</td> <td>Yes? Sushi restaurant? O.K. Go straight for two blocks. Turn right.</td> </tr> <tr> <td>Two blocks. O.K. Right. I see. Left. Thank you. I like Tuna. Wow! Nice. Thank you very much.</td> <td>You can see it on your left. What sushi do you like? Great. My favorite is Ikura. You're welcome.</td> </tr> </tbody> </table>	A (観光客)	B(道案内)	Excuse me? Where is the sushi restaurant?	Yes? Sushi restaurant? O.K. Go straight for two blocks. Turn right.	Two blocks. O.K. Right. I see. Left. Thank you. I like Tuna. Wow! Nice. Thank you very much.	You can see it on your left. What sushi do you like? Great. My favorite is Ikura. You're welcome.	【ICT 活用の工夫】 ・ 単元を通して、自己評価や相互評価を行う際にポジショニング機能を用いる。これにより、授業の前半と後半での個人や集団の変容が可視化できる。児童は自身の学びや変容を視覚的に確認でき、教師は次時や次単元の指導に生かすことができる。
A (観光客)	B(道案内)							
Excuse me? Where is the sushi restaurant?	Yes? Sushi restaurant? O.K. Go straight for two blocks. Turn right.							
Two blocks. O.K. Right. I see. Left. Thank you. I like Tuna. Wow! Nice. Thank you very much.	You can see it on your left. What sushi do you like? Great. My favorite is Ikura. You're welcome.							
7 Comment Time ・ 本時の学びを振り返り、次時に向けた意欲を高める。 外国人観光客が旅行を楽しめるような道案内をするためには、相手が行きたい場所や目的について質問したり、おすすめのメニューや好きな食べ物について伝え合ったりすることが大切だと分かった。次回は〇〇先生が、もっと旅行を楽しめるように道案内をしたい。 ・ 修学旅行での道案内の写真を提示し、本時の学びを一般化する。								
	8 Goodbye Time ・ 終わりのあいさつをする。							